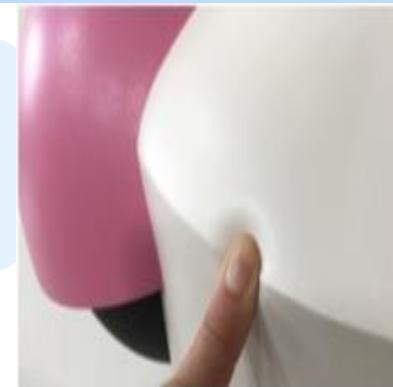


企業概要

- 社名（株）三重ロボット外装技術研究所（三重県） <http://mierobot.co.jp/>
- 従業員数：2人 ■ 資本金：10百万円 ■ 売上高：47百万円
- 事業内容：衝撃吸収接触センサの開発・製造・販売 ■ 知的財産：特許3件、商標2件



衝撃吸収接触センサー「YaWaRaKaロボD」

相談のきっかけ

当社がこれまでに蓄積し育んできた木型製造技術、樹脂加工技術を生かして独自開発した衝撃吸収接触センサー「YaWaRaKaロボD」で国内特許を取得したことを契機にその後も接触検出の特許を取得し、ワールドワイドに活動している大手からの引き合いもあり海外での需要もあると考え、事業と知財の両面からの支援を受けたく知財総合支援窓口へ相談に行った。当社の強みを最大限発揮し得る事業プランの確立と、顧客や競争者に対する差別化・魅力化・独自化を意識した知財手当て、その中で知財活用を十全ならしめることで高い収益性が望めるビジネスモデルを生み出し、計画的かつ有機的に実践するためのアクションプランを策定したい。

課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家
ビジネスモデルの検討・整理（3分野）	<ul style="list-style-type: none"> 投資・回収面での事業の優先順位付け、及び、各事業毎の活動（事業視点／知財視点）の整理 中小企業診断士 弁理士
ライセンス契約／知財戦略構築の検討	<ul style="list-style-type: none"> 知財活動の課題を整理し、合目的な知財戦略（権利化／秘匿化含む）を策定 ライセンスビジネスにおける課題整理、及び、競争力の維持強化に必要な知財的手当て要否検討・整理 中小企業診断士 弁理士
共同研究開発及び標準化	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究開発のためのアライアンスに関する課題整理、当社の方針の整理 標準化プロセスにおける競争力の維持強化に必要な知財的手当て要否検討・整理 中小企業診断士 弁理士
アクションプランの策定	<ul style="list-style-type: none"> ゴール到達に向けた課題解決のための活動計画策定（事業面を軸としたアクションプラン） 中小企業診断士 弁理士

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
ファブレス化に至る当社ビジネスモデルの検討・整理	<ul style="list-style-type: none"> 支援を通して知的財産権を保有することの優位性に気づけたことから、当社の事業モデルを川上ポジションのビジネスモデルとして再構築することができた。 開発提案が当社の価値であると考え、自社製造よりも協力工場とのアライアンスが競争力強化に繋がるとの確信が持てて、ファブレス化を実行することができた。
ライセンス、共同研究、標準化に係る契約の要点整理と当社ポリシーの策定	<ul style="list-style-type: none"> 知財を中心に据えた契約ポリシーを新たに策定出来た事で顧客との向き合い方や契約に対しての実務的なノウハウを得る事ができた。 NDA締結や顧問弁護士によるリーガルチェックが日常化するような体制ができた。

社長の支援成果についてのコメント

計画的な支援を通じて、当社の成長に欠かせない事業上、知財上の要素や課題を改めて見直すきっかけができました。さらに、知財化、契約、市場投入においてブランディング視点の必要性、そのためのツール整備など事業視点と知財視点から活動計画を策定し実施することの重要性に気づけた。

リーダー： 東條寮（中小企業診断士）

支援担当者： 村上一仁（三重県知財総合支援窓口）